植田好雄通信

島根県江津市敬川町811-1
2021年7月
NO. 2

【発行責任者】
植田　好雄
TEL(Fax) 0855-52-7837
E-mail
yosio@helen.ocn.ne.jp
ホームページ
http://www.uedayoshio.net/

新庁舎での初議会を開催

5月6日に新庁舎が開庁し初めての議会は、6月9日～24日の16日間で行われた。　多目的ホールを議場としており、傍聴席から議員の顔も一挙手一投足が手に取るように見れます。市民の多様な民意をしっかりと議論し、市民に寄り添い、信頼される議会にしていかなければならない。

新庁舎に移転した事で、歴史的建築物としての価値が評価されている、旧庁舎の解体か存続かを、今後1年かけて調査・検討がされ決定されますが、負の遺産とならない判断が問われます。

一般質問は、15日、16日の二日間で行われ、14名中（2名欠員）9名の議員が質問を行った。

議会冒頭に議長が辞職願

6月定例議会の冒頭に、森脇議長より議長の辞職願が提出され、議長選挙が行われた。慣例では昨年6月議会で2年交代が、豪雨災害や新型コロナ感染症対策を理由として延長されたが、一定のめどがついたとの事と議長に留まったことで軋轢もあり改善をしたいとの事でした。　議長選は無記名投票で行い、永岡市議6票、石橋市議4票、森川和英市議2票（市民クラブ）、森川佳英市議2票の投票結果で、永岡市議が新議長に選出されました。

更に、議会開会の前段では、田中利徳市議から議員辞職願（最終日に教育長の任命案件で就任）が出され（議員2名欠の14人となる）、波乱含みの6月議会となった。

議会初日に17議案の提案

議会初日に、同意議案1件、報告議案6件、承認議案（専決処分など）6件、条例議案1件、一般議案1件、予算議案2件の17議案の提案が行われ、議会最終日に、追加の補正予算と教育長任命の同意議案などが提案された。

■報告議案は、一般会計で令和2年度内に諸事情により年度内完了が困難になった事業を繰越明許費（総額は16億270万円）としての報告です。その他に、特別会計や水道事業会計も繰り越されます。

■承認議案は、主に令和2年度一般会計補正で、特別交付税や交付金、又は市債などの確定で歳入の最終調整と基金の積み立が行なわれた。　更に令和3年度一般会計補正予算（第1号）は、新型コロナ感染症対策費や江津中学校空調設備改修費などで、補正予算（第2号）は、地方創生テレワーク交付金を活用したサテライトオフィス等整備事業（地場産センターと民間施設活用はSUKIMONOに整備）にかかる経費などで、急を要する事業を専決処分として計上されたものです。これらは、提案説明、質疑・討論、即決の採決が行われ承認された。

植田好雄はいづれも賛成をした。

傍聴席側から見た議場　奥が議長席、右側が議員席、左側が執行部席

旧庁舎の議場

建設経済委員会に付託

■条例議案は、谷住郷地域コミュニティ交流センターを移設に伴い住所変更など所要の改正を行う。

■一般議案は、主要地方道大田桜江線災害防除工事に伴い、路線全体が県道区域に取り込まれるため「市道的場線」の廃止に関する議案が、建設経済委員会に付託され、6月18日に開催し審議を行い、いづれも可決した。

補正予算は

令和3年度一般会計補正予算（第3号）は、予算決算委員会に付託され、6月21日に審議し、植田好雄は賛成し原案通り可決した。

今回の補正予算（第3号）は、3月議会で、令和3年度当初予算編成が可決され、その後に国や県の補助金などが確定した事業などが計上され、補正額1億509万円、予算総額152億7867万円とするもので、主なものとして

●地域コミュニティ活性化事業277万円は、谷住郷地域コミュニティ交流センターを旧谷住郷保育所に移転に伴いトイレ改修などの設計委託業務となっています。

●サテライトオフィス等整備推進事業6457万円は、「多様な生業と魅力ある雇用があるまち」を基本目標に、地場産センターと民間施設活用した整備支援を行い、誘致促進のプロモーションの取組みや企業進出支度金の助成などが行われます。

（財源は、地方創生テレワーク交付金5245万円、その内6月補正4843万円）

●都市再生整備計画事業2000万円は、地盤沈下で建て替えが必要な県営渡津団地と老朽化による市営嘉戸団地の建て替え、（仮称）第2江津中央団地の新築工事実施設計業務委託料です。

（財源は、国交省都市局所管『都市構造再編集中支援事業』100万円）

●その他は、◎子育て世帯生活支援特別給付金の円滑な給付に向けたシステム改修費に330万円、◎地域活力創出事業として、本町地区歴史建造物を活かしたまちづくり協議会の、江津本町「かかわりしろ」創出事業に200万円の補助がされます。

◎農業振興費として担い手育成対策事業の人・農地プラン実行支援経費に133万円となっています。

植田好雄は、何点か質疑も行い、必要な予算と判断し賛成した。

4階展望ホールからの眺望

5月6日開庁式でのテープカット

教育長の任命と補正予算が追加提案

最終日に、小笠原教育長が6月末日で辞職に伴い、教育長に田中利徳氏（市議辞職）の任命が提案され承認された。

一般会計補正予算（第4号）は、委員会付託は省略され、質疑・討論の後、採決を行い可決した。

補正額は2億5485万円、予算総額155億3352万円で、事業の内容は、有福温泉を再び観光拠点として整備するもので、有福温泉活性化事業として廃業旅館の解体、既存旅館等の高付加価値化改修、新規旅館やレストラン整備、風の国と連携する観光拠点としての整備です。

財源は、国庫補助金2億834万円、県補助金4699万円と、本市の地域活力創出事業8382万円を減額し、「有福温泉活性化事業に有福温泉再生補助金に組み替えたものです。

植田好雄は、レッドゾーン対策や事業効果の見通しの根拠など何点かを質した。

有福温泉の再生は待ったなしの状況であり、昨年有福温泉振興会の立ち上げや地元自治会や商工会、金融機関、県・市も参加する有福温泉再生プロジェクト会議なども結成されており、有福温泉再生に具体的に動き出したと言えます。

陳情は不採択

「江津市中小企業等持続化応援金（第3弾）に関する陳情について」建設経済委員会に付託され審議された。植田好雄は「この間の給付基準のボーダーラインの方は売り上げが減少しても給付されないが苦労して事業を何とか続けている。こうした人の支援も必要でもあり、継続した支援をするためにも賛成」と主張しましたが、賛成少数で否決されました。

特別委員会を設置

■議会活性化特別委員会
委員長　　森脇悦朗
副委員長　坂手洋介
委員13名（議長除く全員）

■江の川流域治水対策特別委員会
委員長　　藤田　厚
副委員長　森脇悦朗
委員13名(議長除く全員)